

第74期

IR Report 株主通信

2019年4月1日～2020年3月31日



特集

社長インタビュー

新型コロナウイルス感染拡大は、世界経済を窮地に追い込みました。この厳しい環境に合わせた経営戦略を立案し、社是の「挑戦」を旗印に全社員が一丸となり全力で頑張ってまいります。

TOP
INTERVIEW

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。当事業年度(2019年4月1日から2020年3月31日まで)の「株主通信」をお届けするにあたりまして、皆さまからの日頃のご支援に対して心より厚く御礼申し上げます。

Q 第74期の総括

「コミット600」に再チャレンジすべくスタートした第74期の重点課題は直需事業の強化とエンジニアリング事業の再構築でした。既存事業では、近畿営業部、直需営業部、北海道営業部は売上目標を達成。全体的には、前年実績は超えたものの目標には届きませんでした。

当社グループの業績は、売上高 58,709 百万円（前連結会計年度比 1.5%増）、営業利益 547 百万円（同 0.1%増）、経常利益 660 百万円（同 1.8%増）、親会社株主に帰属する当期純利益 415 百万円（同 8.5%減）となりました。前半は雇用や所得も安定しませんでした。後半は消費増税、台風などの自然災害、更には新型コロナウイルス感染症の拡大などにより厳しい状況になりました。

営業活動におきましては、「市場カバーの強化」というテーマで移動時間の短縮、地域ニーズの深掘りによりお客様とのコミュニケーション、業務効率のアップを目指してきました。もう一つのテーマ「卸としての基盤強化」

におきましては、「今日間に合うがどこまでできるか」のためにリードタイムの短縮と物流網の見直しを行いました。

昨年4月にトクダシモエースを吸収合併し、東京第5、第6、埼玉第2、神奈川第2営業所、東京流通センターとしてスタートを切りました。消耗品、基礎・接合金物等の販売強化と運送効率の向上を目指しています。そして、本年の7月には、延床面積995㎡、在庫数3000アイテム、在庫額1億円を目指して神奈川流通センターが開設予定です。

新Eコマース「スギカウ」も昨年5月に稼働し、「BtoC」にも対応しています。将来的には大きな柱になってくると思います。

成長を続けるIZAMESHIは累計出荷数500万個に到達し、売り場数も1000店を超えました。大手百貨店でもお歳暮ギフトカタログに採用、CANシリーズ発売を契機にアパレルショップなど新しい販路開拓に取り組んでいます。そして昨年12月に新宿マルイ本館5階に当社初のカフェ「IZAMESHI Table」をオープン。多くのお客様に利用され、幸先の良いスタートを切りました。アウトドアファニチャー「PATIO PETITE」も「LEON」「ELLE DECOR」などの雑誌にも大きく取り上げられ注目を集めると共にエクステリア・家具領域への販路を拡大中です。

Q 第75期への取り組みは？

新型コロナウイルスの感染拡大は、当社にとりまして大きな打撃となっております。すでに大手・中堅ゼネコンを中心に現場の一時中止、工期遅延が発生し始め、今後予定されている建築計画が中止や凍結になる可能性もあります。経済停滞の長期化により、特に観光、交通、

飲食、娯楽、芸能などは早期から被害は甚大です。全世界規模での感染拡大によりインバウンド需要は皆無になり、関連する事業は継続自体が難しくなるでしょう。経済活動の一時復旧はあったとしても、完全復活には数年単位かかると予想しています。

逆風の中でのスタートとなった75期でしたが、4月度は全社の売上目標を達成することができました。当社の強みは、環境に合わせた営業をスピーディーに展開できる点です。マスクや消毒液などの衛生商品の販売を強化した結果です。ソーシャルディスタンスなど新しい生活様式を想定すると衛生商品関連、通信販売が益々成長する中で需要が増えている宅配ボックス関連、備蓄意識の高まりに対応した非常食IZAMESHI、感染予防の為にドアの自動化を実現させる電動ドアクローザー、三密を避けるためのアウトドア需要の高まりによるパティオ・ティなどのアウトドア用品などはこれから益々成長する商品です。見方を変えればチャンスなのです。当社は業界ではいち早くテレワークを実施し、テレビ会議システムを利用した社内コミュニケーションや営業活動を行っています。過去を捨て、新しいチャレンジによりこの困難に立ち向かう所存です。

今後とも、倍旧のご支援とご協力を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。



ニュースダイジェスト

2019年4月～2020年3月

2019年

4月 アウトドアファニチャーブランド「PATIO PETITE - MA Series -」発売開始

谷尻誠、吉田愛率いる建築設計事務所 SUPPOSE DESIGN OFFICE がデザインを手がけた「PATIO PETITE - MA Series - (パティオ・プティ・マ・シリーズ -)」を発売。“間と余白のあるアウトドアファニチャー”をコンセプトに素材やデザインに加え、スケール感も高級感を生み出すものであるとらえ誕生しました。ソファ、テーブル、チェア、ベッドなど。



2019年

5月「スギカウ」個人消費者様 (BtoC) 向けサービス開始

個人消費者様 (BtoC)向けのサービスでは、従来の「商品検索サービス」の機能である商品名やカタログページ等での商品検索機能および、「エース建築金物総合カタログ」の閲覧、CAD図面 (DXF)のダウンロードに加えて、商品のご購入が可能です。



2019年

5月 第13回 オフィス防災 EXPO に出展

東京ビッグサイトで開催された「第13回オフィス防災 EXPO」に出展いたしました。この展示会は、あらゆる防災分野の製品が展示される危機管理・災害対策の商談専門会です。長期保存食イザメシ、防災グッズ MINIM+AID (ミニメイド)、簡易トイレ minimLET (ミニムレット)、手動式発電バッテリー denqu (デンクル) を出品いたしました。



2019年

6月 長期保存食イザメシに「IZAMESHI CAN」が新登場！ 6月発売開始

開封してすぐにお召し上がりいただける缶詰タイプが新登場。ごはん3種、おかず6種とバリエーションも豊富で、ギフトとして最適な6缶、12缶、18缶セットもご用意いたしました。水、手間、時間が不要で、開封後すぐに食べられ、化学調味料不使用なので普段の食卓でも重宝します。



2019年

6月 建築金物見本市 SUGIFES2019 開催

6月 28日(金)・6月 29日(土) の2日間、東京ドームシティプリズムホールにて「SUGIFES2019」を開催いたしました。大勢の皆様にご来場いただきまして大盛況のうちに幕を閉じることができました。



2019年

9月 ギフト・ショー秋 2019 に出展

東京ビッグサイトで開催された「第88回東京インターナショナル・ギフト・ショー秋 2019」に出展しました。国外よりセレクトした輸入雑貨をメインに幅広いラインナップを展示、アウトドアファニチャー「PATIO PETITE (パティオ・プティ)」や長期保存食「IZAMESHI(イザメシ)」、手動発電式バッテリー「denqul(デンクル)」などのオリジナルアイテムも人気でした。



2019年

11月 IFFT/ インテリア ライフスタイル リビングに出展

東京ビッグサイトで開催される「IFFT/ インテリア ライフスタイル リビング」に出展いたしました。この見本市ディレクターでもある、谷尻誠・吉田愛率いる SUPPOSE DESIGN OFFICEと共同開発したアウトドアファニチャー PATIO PETITE(パティオ・プティ) の「MA Series(マ・シリーズ)」をメインに展示いたしました。



2019年

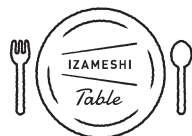
12月 ショップ&カフェ「IZAMESHI Table」 2019年12月新宿マルイ本館5階にオープン！

長期保存食「IZAMESHI(イザメシ)」を通してバラエティ豊かなフードとスイーツをお楽しみいただけるショップ&カフェ「IZAMESHI Table(イザメシテーブル)」。

長期保存食を気軽に日常生活に取り入れてほしいという思いから「IZAMESHI」をベースに多彩なアレンジを加えたフードメニューやキッズプレートを豊富に取り揃えています。



杉田エース初のショップ&カフェ「IZAMESHI Table」が 新宿マルイ本館にオープンしました！



イザメシを知ってもらい、保存食の既成概念を変えたい—— 発売以来累計 470 万食を超えたイザメシ。「おいしい」「パッケージがおしゃれ」「日々の食卓にも利用できる」など好評ですが、まだまだ認知されておりません。そこでイザメシを知っていただき、イザメシのあるライフスタイルを提案するためにイザメシテーブルが昨年 12 月 13 日（金）にオープンしました。場所は新

宿三丁目交差点にある新宿マルイ本館の 5 階です。ここには大手百貨店やブランドショップなどもあり、平日でも多くの人で混雑しています。店舗のコンセプトは「上質でこだわりのあるイザメシを体験できる」、ターゲット層は 20 歳代後半から 45 歳前後の働く世代、また働く女性や若い専業主婦などです。店内は、「家」をテーマに、厳選した木製のチェアや少人数から大人数まで対応できるテーブルを配し、天井や棚上にはグリーンを有機的に取り入れることで、明るく開放的で居心地の良い空間づくりを目指しました。店舗入り口に設置したショップスペースでは、イザメシシリーズのフルラインナップの販売をはじめ、店内で展開する一部のメニューのテイクアウトも対応しています。

もしもの時の備えに—— 2018 年以降、震度 6 以上の地震が近畿地方や北海道で起きています。昨年秋の台風では千葉県など各地で大きな被害が出ました。30 年以内に大規模な地震が発生する確率は 70%と言われており、今後、非常食の備蓄は必要不可欠です。普段使いが出来る美味しいイザメシを実際に食べていただき、その魅力を知っていただきたいと思います。

Private View オープンに先駆け、12月12日（木）に「PRIVATE VIEW」が開催され多くのお客様にご来場いただきました。





IZAMESHI Table イザメシテーブル

所在地: 〒160-0022
東京都新宿区新宿3丁目30-13
新宿マルイ本館5階
営業時間: 11:00~21:00
(日・祝 11:00~20:30)

定休日: 年中無休 (新宿マルイ本館の休館日に準ずる)

電話: 03-6273-0027 公式サイト: izameshitable.com

Instagram: @izameshitable Facebook: @izameshitable

New Product

水・手間・時間が不要でおいしく食べられる缶シリーズ 「IZAMESHI CAN」！



■ IZAMESHI CAN の特徴

開封してすぐに食べられる缶詰タイプです。ごはん3種、おかず6種の計9種とバリエーション豊富にご用意いたしました。「IZAMESHI CAN」シリーズは、水、手間、時間が不要で、開封後すぐにお召し上がりいただけます。化学調味料も不使用なので普段の食卓にも重宝します。ちょっとした手土産にも便利な6缶セット、お中元やお歳暮などにもぴったりの12缶セット、ご自宅の備蓄食としてご利用いただける18缶セットなど、用途にあわせてお選びいただける詰め合わせセットもあります。



IZAMESHI CAN BAG RED [IZAMESHI CAN×6]

■セット内容

小豆が入った雑穀玄米ごはん×1、具材いろいろ鶏五目ごはん×1、生姜の風味の牛そぼろごはん×1、甘辛仕立ての牛肉のやわらか煮×1、ほんのり甘いうずらの煮卵×1、花山椒香る麻婆豆腐×1

付属品：割箸 3膳

標準小売価格：2,500円(税別価格)



IZAMESHI CAN BOX [IZAMESHI CAN×12]

■セット内容

小豆が入った雑穀玄米ごはん×2、具材いろいろ鶏五目ごはん×2、生姜の風味の牛そぼろごはん×2、甘辛仕立ての牛肉のやわらか煮×1、ほんのり甘いうずらの煮卵×1、花山椒香る麻婆豆腐×1、野菜と鶏肉の旨味しみこみ筑前煮×1、骨までやわらかさんまの味噌煮×1、ごはんのお供に鮭とたらこのオイル漬け×1

標準小売価格：5,000円(税別価格)



IZAMESHI CAN STOCK [IZAMESHI CAN×18]

■セット内容

小豆が入った雑穀玄米ごはん×3、具材いろいろ鶏五目ごはん×3、生姜の風味の牛そぼろごはん×3、甘辛仕立ての牛肉のやわらか煮×2、ほんのり甘いうずらの煮卵×1、花山椒香る麻婆豆腐×2、野菜と鶏肉の旨味しみこみ筑前煮×2、骨までやわらかさんまの味噌煮×1、ごはんのお供に鮭とたらこのオイル漬け×1

付属品：割箸 9膳

標準小売価格：7,500円(税別価格)

杉田エースと建築事務所 SUPPOSE DESIGN OFFICEによる アウトドアファニチャー「PATIO PETITE -MA Series-」に 新作アイテムが誕生



「PATIO PETITE -MA Series-（マ・シリーズ）」は、素材やデザインに加え、スケール感も高級感を生み出すものであるととらえ“間と余白のあるアウトドアファニチャー”をコンセプトに、2019年に誕生しました。大きなひじ掛け、奥行きのある座面、テーブルの余白のスペースなど、広さを感じられる設計を施すことにより、ゆったりと寛いだり、本、グラス、フラワーベースやランプなどを置いたり、用途や空間により多様なシーンが生まれるアウトドアファニチャーです。

2020年新作コレクションは、テラスやバル

コニーライフをより豊かにする新しいアイテムが加わります。炭や薪を使って小さな焚火を楽しめる重厚感あるモルタル天板のファイヤーピットテーブルや、ゆったりした座り心地が魅力的なラウンジチェア、アペリティブにもぴったりのハイスツール&ハイチェアなど、目的や使用用途によって最適なアイテムをお選びいただけます。また、本シリーズ初となるプランター2サイズは、厚みのあるラタン素材とスチールの質感が特徴的で、植物の色彩を引き立てます。



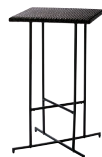
MA-LOUNGE CHAIR /
MA-ラウンジチェア

ゆったりした座り心地のラウンジチェア。



MA-ARM BENCH /
MA-アームベンチ（左）

2人掛けのベンチタイプ。ダイニングテーブル4人掛け、ローボード、いずれの組み合わせも可能。



MA-HIGH TABLE /
MA-ハイテーブル（左）

コンパクトなベランダにも設置できる60cm四方のハイテーブル。



MA-HIGH STOOL /
MA-ハイスツール（右）

心地よい“間”を取り入れた洗練のハイスツール。持ち運びも快適。



MA-BENCH /
MA-ベンチ

籠目編みをモチーフにしたベンチは、ファイヤーピットテーブルやローボードと組み合わせても使用できる。座面両側のグリップで持ち運びも快適。

MA-STOOL / MA-スツール

シンプルでコンパクト。持ち運びも快適。

MA-FIRE PIT TABLE /
MA-ファイヤーピットテーブル
ファイヤーピットでは焚き火を楽しめる。

MA-ARMLESS CHAIR /
MA-アームレスチェア（右）

ゆったりと座れるアームレスチェア。ダイニングチェアとしても使用できる。

業績・財務ハイライト

営業概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、前半は雇用・所得環境が安定していましたが、通商問題による不安定な国際情勢や自然災害の発生、また10月の消費税増税、更に新型コロナウイルス感染症の蔓延等、様々な下方リスク要因によって不透明感を増し、予断を許さない状況となりました。

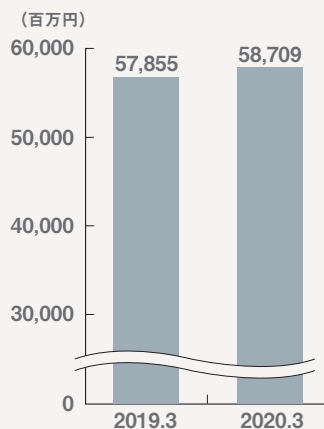
住宅建設業界におきましては、持家の着工は緩やかに減少し、貸家の着工は下げ止まりの兆しがみられましたが、分譲住宅の着工は弱含んでおります。首都圏のマンション総販売戸数は減少し、全体として弱含みで推移しました。また、世界的な新型コロナウイルスの拡散により輸入商材においては納期遅れ等による商品不足がみられました。

このような状況の中、当社グループは4月に連結子会社（特定子会社）のトクダマシモエース株式会社を吸収合併し、東京流通センターを開設、東京・神奈川・埼玉地区にて新営業体制の構築をいたしました。また、新規開発商品等による異業種分野への新規開拓を図って参りました。

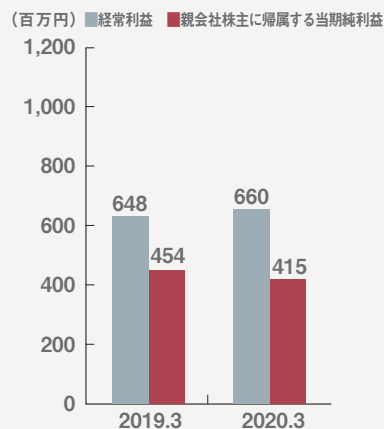
この結果、当連結会計年度における当社グループの業績は、売上高 58,709 百万円（前連結会計年度比 1.5% 増）、営業利益 547 百万円（同 0.1% 増）、経常利益 660 百万円（同 1.8% 増）、親会社株主に帰属する当期純利益 415 百万円（同 8.5% 減）となりました。

連結財務ハイライト

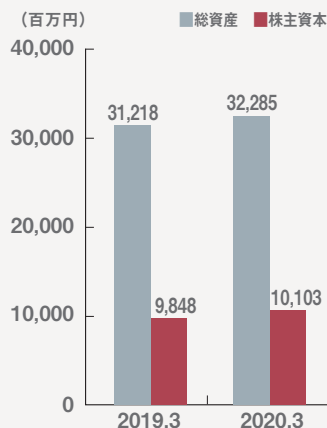
売上高



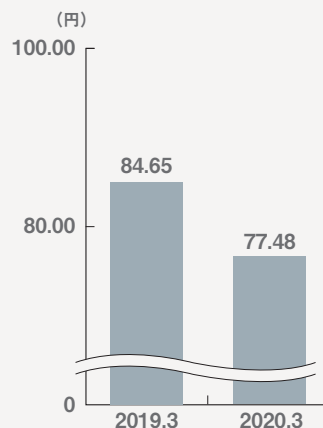
経常利益／親会社株主に帰属する当期純利益



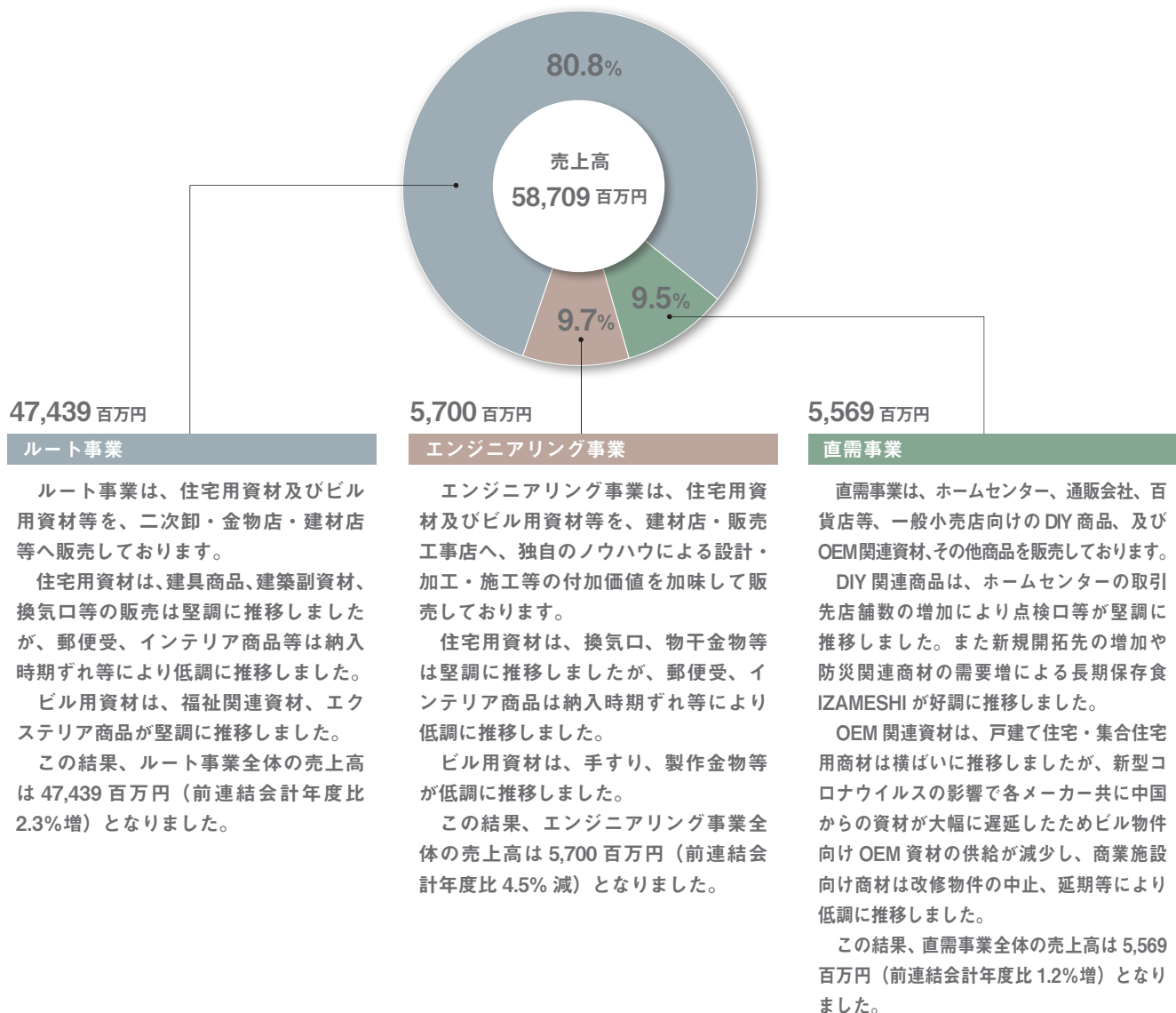
総資産／株主資本



1株当たり当期純利益



セグメント状況



決算レポート

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	第73期 2019年3月31日現在	第74期 2020年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	23,841	24,897
現金及び預金	2,527	2,883
受取手形及び売掛金	14,930	15,099
電子記録債権	1,604	2,013
たな卸資産	3,437	3,816
未収入金	1,301	1,054
その他	49	38
貸倒引当金	△ 8	△ 7
固定資産	7,376	7,388
有形固定資産	5,165	5,226
建物及び構築物	2,321	2,249
土地	2,713	2,696
その他	130	280
無形固定資産	352	356
ソフトウェア	223	241
その他	129	114
投資その他の資産	1,859	1,805
投資有価証券	998	929
繰延税金資産	221	234
その他	638	642
資産合計	31,218	32,285

科 目	第73期 2019年3月31日現在	第74期 2020年3月31日現在
(負債の部)		
流動負債	18,562	19,556
支払手形及び買掛金	7,061	6,535
電子記録債務	9,588	10,932
1年内返済予定の長期借入金	470	433
未払法人税等	300	199
賞与引当金	317	357
その他	823	1,097
固定負債	2,790	2,607
長期借入金	1,721	1,513
退職給付に係る負債	438	440
役員退職慰労引当金	488	519
その他	141	134
負債合計	21,352	22,164
(純資産の部)		
株主資本	9,848	10,103
資本金	697	697
資本剰余金	409	409
利益剰余金	8,746	9,000
自己株式	△ 4	△ 4
その他の包括利益累計額	17	18
その他有価証券評価差額金	46	36
退職給付に係る調整累計額	△ 29	△ 18
非支配株主持分	0	-
純資産合計	9,866	10,121
負債純資産合計	31,218	32,285

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	第73期 自 2018 年 4 月 1 日 至 2019 年 3 月 31 日	第74期 自 2019 年 4 月 1 日 至 2020 年 3 月 31 日
売上高	57,855	58,709
売上原価	49,520	50,290
売上総利益	8,335	8,419
販売費及び一般管理費	7,788	7,871
営業利益	547	547
営業外収益	194	197
受取利息	1	0
受取配当金	19	21
仕入割引	119	114
受取家賃	41	42
その他	13	18
営業外費用	93	84
支払利息	9	8
手形売却損	16	13
売上割引	56	59
その他	10	3
経常利益	648	660
特別利益	169	-
固定資産売却益	169	-
特別損失	35	86
固定資産除売却損	0	21
投資有価証券評価損	10	65
ゴルフ会員権評価損	21	-
ゴルフ会員権売却損	3	-
税金等調整前当期純利益	783	573
法人税、住民税及び事業税	292	192
法人税等調整額	36	△ 34
当期純利益	454	415
非支配株主に帰属する当期純利益	0	-
親会社株主に帰属する当期純利益	454	415

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	第73期 自 2018 年 4 月 1 日 至 2019 年 3 月 31 日	第74期 自 2019 年 4 月 1 日 至 2020 年 3 月 31 日
営業活動による キャッシュ・フロー	909	1,142
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 84	△ 380
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 812	△ 405
現金及び現金同等物の 増減額（△減少額）	12	356
現金及び現金同等物の 期首残高	2,514	2,527
現金及び現金同等物の 期末残高	2,527	2,883

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			非支配株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	697	409	8,746	△ 4	9,848	46	△ 29	17	0	9,866
当期変動額										
剰余金の配当	-	-	△ 160	-	△ 160	-	-	-	-	△ 160
親会社株主に帰属する当期純利益	-	-	415	-	415	-	-	-	-	415
自己株式の取得	-	-	-	△ 0	△ 0	-	-	-	-	△ 0
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	-	-	-	-	-	△ 9	10	0	△ 0	0
当期変動額合計	-	-	254	△ 0	254	△ 9	10	0	△ 0	255
当期末残高	697	409	9,000	△ 4	10,103	36	△ 18	18	-	10,121

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

株式情報

株式の状況

(2020年3月31日現在)

- ①会社が発行する株式の総数 普通株式 19,490,000 株
 ②発行済株式の総数 普通株式 5,374,000 株
 ③株主数 4,770 名

大株主

(2020年3月31日現在)

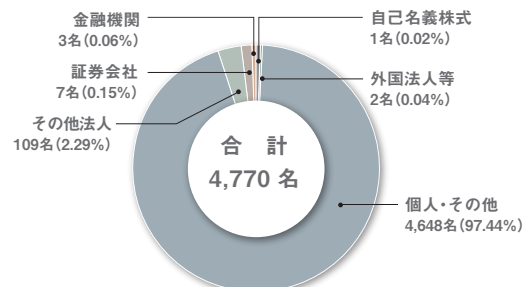
株主名	持株数	持株比率
杉田直良	906,000 株	16.89%
有限会社 杉田商事	730,000 株	13.61%
杉田エース従業員持株会	265,712 株	4.95%
杉田裕介	260,000 株	4.85%
株式会社 三井住友銀行	195,000 株	3.63%
東京中小企業投資育成 株式会社	159,500 株	2.97%
株式会社 ナスタ	117,800 株	2.20%
株式会社 ダイケン	93,800 株	1.75%
株式会社 千葉銀行	72,000 株	1.34%
杉田力介	70,000 株	1.30%

(注) 持株比率は自己株式(8,853株)を控除して計算しております。

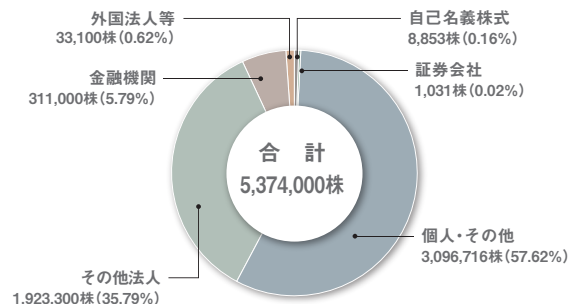
株式分布状況

(2020年3月31日現在)

株主別分布状況

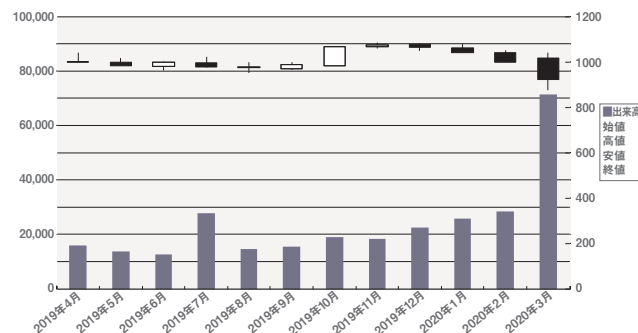


所有株式数別分布状況



株価の推移

(2020年3月31日現在)



会社情報

会 社 概 要

(2020 年 4 月 1 日現在)

商 号	杉田エース株式会社 SUGITA ACE CO.,LTD
所 在 地	東京都墨田区緑二丁目 14 番 15 号
設 立	1948 年 9 月
資 本 金	697,240,600 円
従業員数	554 名（グループ合計）
主 な 事業内容	当社は、住宅用資材、ビル用資材、DIY 商品及び特定需要家向け OEM 関連資材及び自社ブランド商品の卸売業を行っております。

主 な 事 業 所

(2020 年 4 月 1 日現在)

本社事務所	東京都墨田区緑二丁目 14 番 15 号
営業部等	北海道・東北・東京・西関東・北関東・中部・近畿・中四国・南日本・直需
流通センター	札幌・仙台・東京・千葉・成田・埼玉・大宮・名古屋・大阪・福岡
グループ会社	水沢エース株式会社

取締役及び監査役並びに執行役員

(2020 年 4 月 1 日現在)

代表取締役会長	杉 田	直 良
代表取締役社長	杉 田	裕 介
取締役副社長	杉 田	力 介
専務取締役	佐 藤	正
取締役	我 謝	宗 厚
取締役	花 井	慎 一
取締役	高 橋	芳 郎
取締役	鳥 田	直 樹
常勤監査役	北 川	達 也
監査役	貫 井	康 夫
監査役	山 川	修 司

執行役員	瀧 山	吉 彦
執行役員	清 野	賢 太
執行役員	蜷 木	勝 一
執行役員	福 山	潤之輔
執行役員	滝	昇 悟
執行役員	小 林	寛
執行役員	昆 布	光 正
執行役員	井 関	誠
執行役員	上 田	嘉 信
執行役員	黒 圖	高 広
執行役員	岡 田	努
執行役員	萩 原	裕 司

(注) 1. 取締役 鳥田直樹氏は社外取締役であります。
2. 監査役 貫井康夫・山川修司の両氏は社外監査役であります。

株主優待制度のご案内

毎年3月末日現在の、株主名簿に記録されている100株以上ご所有の株主の皆さまを対象に、当社取扱商品を贈呈します。
2020年3月期末は「IZAMESHI(イザメシ)」1セットを贈呈します。



SUGITA ACE

株主メモ(株主のご案内)

■事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	(郵便物送付先)
■定時株主総会	毎年6月開催	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
■基準日	定時株主総会 毎年3月31日	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
	期末配当金 毎年3月31日	(電話照会先) ☎ 0120-782-031
	中間配当金 毎年9月30日	(インターネットホームページ URL)
	その他必要があるときは、	https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
	予め公告して定めた日	
■株主名簿管理人 及び特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社	■公告掲載新聞 日本経済新聞
■株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部	株式に関する住所変更等の届出及びご照会について 証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等の届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

杉田エース株式会社

〒130-0021 東京都墨田区緑二丁目14番15号
TEL.03-3633-5150 FAX.03-3633-5023

当社に関する情報についてはホームページでもご覧いただけます。

<https://www.sugita-ace.co.jp>